

令和2年度 第4回学校運営協議会

今年度4回目の学校運営協議会を3月12日（金）に開催しました。

【話し合われたこと】

- (1) 令和2年度学校運営協議会による学校評価のまとめ（教頭より説明）
- (2) 令和3年度学校経営方針の承認について（第3回運営協議会で校長より説明済）



【質疑応答】

委員： ギガスクール、タブレットの活用について説明して欲しい。

校長： 授業と家庭学習を結ぶ、その中でタブレットの活用を図っていく。そういったことを通して、タブレットの活用、さらには自宅で学習の振り返りができるようなシステム等の構築を行っている。

委員： 全員が同時に使った時に、校内のシステムがどれくらい使えるのか。

教頭： 業者に聞いたところ、一斉に使用した場合については分からないという回答だった。現在は10台程度だが、それが50台くらいは大丈夫だと言われている。

校長： アンケート、生徒会選挙などをタブレットを使用して行い、集計ができるようにしたい。

委員： タブレットは自宅に持ち帰られるのか。

校長： 文科省の文言では、家庭に持ち帰っての活用を言っている。いずれそうなるのではないかと思われる。

委員： 現在条件整備中であると思われる。

委員： 大きさはどれくらいか。子どもが使うのは丈夫なのがいい。関東地区では子どもに貸し出したものの回収が困難になっている。

教頭： ランドセルには入る。B5版で軽量である。

校長： 本校では17の家庭でWi-Fi環境が整っていない。何とかご理解いただき、設置していただきたいと思っている。双葉荘は現在5台のPCがあり、今後、環境を整えたいと言っている。

委員： 授業ではフリーズした時の為に、予備を置いておくなどの対策をしておくといい。

委員： 先生方の残業管理はどうなっているのか。

教頭： 市教委からは来年度からタイムカードの導入が示されている。タイムマネジメント、校務分掌の分担と精選、担任の先生が子どもと向き合う時間を確保していきたい。

委員： 数値目標はどうなっているか。

教頭： 月80時間を超えると委員会に報告しなければならない。

校長： 45時間に減らすようにと言われるが、なかなか難しい。午前中の授業、長期休みをなくすなどを行えば可能ではあるが。

委員： タイムカードを押して仕事をしているということになるのでは。

校長： 先生方の勤務開始時刻は8時15分。教頭は間違いなく毎日超過勤務している。

委員： 「KABC-II」の検査キッドが更に1台購入されるようだが、今後どのような頻度で検査をすればいいのか。その取り組みはどうか。

校長： 今年度、本校では18人の検査を行った。この検査は本人および保護者の御理解を得た上で行っている。検査ができる先生が2名（なおかつ担任でなければ）いれば、検査は充実する。検査を行ったお子さんが、「先生、もっと早く薬を飲めばよかった」と言っていた。そうやって自分を冷静に見ることができる子がいたということは成果である。

【令和3年度全員、挙手にて承認】

(3) 令和3年度学校運営協議会年間計画について【教頭からの説明】

【質疑応答】

委員： あいさつ運動を5月あたりに一回やってみてはどうか。

委員： 大変いいことだと思う。玄関付近で30分程度であれば。

※まずは委員からやってみることで確認

委員： 昭和で有機農法をやっている方がいるが、子ども達に提供できないかやっていたいが。

教頭： 献立検討会の時に、そのようなお話を頂いて、薬物は難しいかもしれないが根菜類はできるかもしれないということで検討中である。

委員： もしも希望があれば、連絡を取ることも可能である。

教頭： 子ども達への講話もお願いしたい。

【全員、挙手にて承認】

委員： 防災訓練は可能なのか。

校長： 3月中に打ち合わせを行い、6月の実行委員会等に参加させていただき、学校としてのねらいや活動を話していきたいと思っている。

<運営委員から>

○ 来年度は役立てるようにしていきたい。

○ 情操教育が重要なファクトと考えている。心から楽しんでいるというのが大事で、各家庭で子ども達とスキーに行くとかスポーツ観戦に行くとかなどもいいし、学校内でマジシャンや唸家、大道芸などをよんで触れさせていきたい。いじめの軽減にもつながるのではないかと考える。

○ 保育所からの観点でということだったが、来年度もっとかかわれるようにしていきたい。

○ 学校の目標で「9年間のかかわりの中で」というのがとてもよいと感じている。小学生と中学生のかかわりを大切にしていって欲しい。個別最適から全体最適になって

いくのだと思うが、学力の向上に期待ができる。なかなか安定した気持ちで日々の暮らしができない世の中だが、子ども達の心の安定を図っていききたい。また、あいさつ運動という声掛けをして第一歩を踏み出す機運が高まったのはとてもうれしい。

- 子ども達の豊かな成長に少しでも寄与できるように頑張りたい。
- 祭りの代表ということで来ているが、大人になってから「地元っていいな」と言える20歳くらいの子が増えている。そういった気持ちを育てていききたい。
- 協議会の実を上げている学校が少ないと思うので、何とか実を上げていききたい。
32回菟野地区公民館祭りをやってきた。子ども達にも参加してもらっていた。しかし、今は職員が足りないという理由で参加できないと言われている。それについてはとてもつらいと感じている。保育所の子ども達が参加すると、地域のお年寄りはとても喜ぶ。子ども達が大人になった時に、地元に戻ってきて参加したいという気持ちを持てるようにして欲しい。心身ともに鍛えるのが大事だと思う。
- 先生方が苦勞しているのは大変理解できる。委員の一人として、先生方の助けになっていききたい。柔道部の廃止は残念だった。スポーツクラブや体育協会などで頑張っていかななくてはならないのだろうと思うが。
- 挨拶運動は大賛成。PTOが完全ボランティア制になって、募集をしても4名しか来ない。さくらネットワークのみなさんの御協力をいただいてきたが、本来保護者がやらなければならない活動が盛り上がらなかったという反省がある。
- 働き方改革やらコロナへの対応やらまだまだ課題が山積みだが、少しでも運営協議会が良い方向に向かうようにしたい。
- どんな風にしたら子どもが元気になるか、子どもの学力が上がるかを考えていききたい。
- 計画（プラン）はできたので、来年はもっと実行していききたい。

(4) その他（校長・運営委員より）

校長： 菟野公民館祭りへの参加については今までの経緯をふまえて参加の是非を検討する。（校長より）

委員： あいさつ運動についての詳細は教頭より提案する。

委員： 校長先生とお話ししたいという方がいる。お話を聞く会をしていききたい。

委員： 4月や11月8日の良い歯の日に歯科医師会でイベントを行っている。学校からの参加者がいなかった。とてもいい勉強の機会になるのでぜひ参加して欲しい。

